

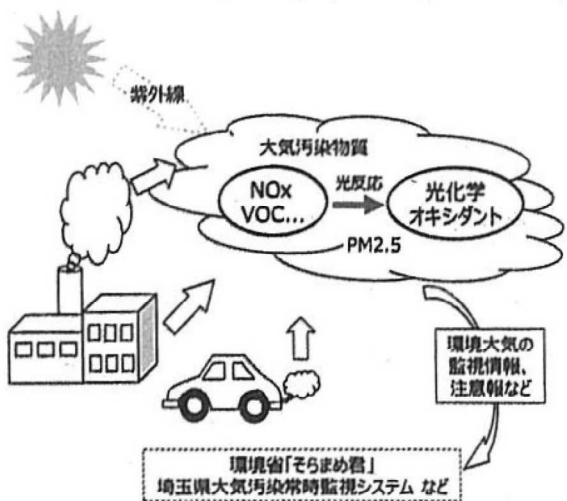
大気の監視情報を利用しよう

昨年より1か月ほど早い4月22日、埼玉県下で今年初の光化学スモッグ注意報が発令されました。環境大気中の光化学オキシダント濃度が一定の基準を超え、気象条件からその状況が継続されると認められたときに注意報や警報が発令されます。光化学オキシダントの原因物質は工場や自動車の排ガスなどに含まれる窒素酸化物(NOX)、塗料や燃料から排出される揮発性有機化合物(VOC)であり、太陽光からの紫外線による光化学反応で生成されます。

埼玉県は光化学スモッグ注意報の発令日が他の都道府県よりも多く、何度も全国一位になっており、昨年は5月から8月にかけて15日発令されました。

埼玉県立大学准教授 四ノ宮 美保

光化学スモッグによる健康への影響には、目に対する刺激やのどの痛みがあり、さらにひどくなるとめまいや頭痛がします。影響は個人差があり、乳幼児やお年寄り、またぜんそくなどの疾患のある人は健康被害を受けやすいので、注意報が発令されたら屋外での激しい運動は避けて、屋内に入りましょう。また、NOXの発生源である自動車



光化学スモッグ発生したら屋内へ

の運転も控えましょう。

光化学オキシダントやPM2.5などの大気汚染物質の環境大気中の濃度は各地に設置された測定局で常時監視されています。県南東部地区には現在9か所の測定局があります。大気汚染物質のモニタリング結果は、環境省の「そらまめ君」(「空をマメに監視」)のサイト、埼玉県やお住まいの市町村のホームページなどでいつでも見ることが出来ます。

また、光化学スモッグ注意報の発令状況やPM2.5の注意喚起情報も確認できます。さらに最近では、光化学スモッグ予報、PM2.5や黄砂の飛散予測、紫外線や熱中症を予防するための暑さ指数の予報などもインターネットで調べることができ、テレビなどの天気予報でも知らせてくれるケースが増えています。これからますます暑くなってくるこの時期。お出かけの際には、天気予報のように、環境大気の監視情報を利用してはいかがでしょうか。



<13>